

- ・子どもの行事は一生に一度だから(30代女性)
- ・子供と一緒に行動できるのは本当に短いから、行事参加や、一緒に過ごす時間を大切にしたい。でも、その分、子供がいない人にも休みを取れるようにお互い様の精神で譲り合いたい。(30代女性)
- ・子供が理由じゃなくても介護など家庭の事情がそれぞれあるはずだからお互い様の気持ちで働けたら良いと思う(30代女性)
- ・子供との時間を少しでも多くしてあげるのは悪い事だとは思わない。(30代女性)
- ・子供と過ごせる時間は今しかないし、平等に与えられるべき権利だとも思う。(30代女性)
- ・子供に寄り添うのが今の時代は大事な気がするから(30代女性)
- ・子供の親に代わりは居ない。最低限は一緒に過ごしてあげたい。(30代女性)
- ・子供の親は1人しかいない。仕事は代わりができる。(30代女性)
- ・子供の成長はあつという間だから(30代女性)
- ・子供の成長を見て、仕事への活力に繋がると思うから。(30代女性)
- ・子供の有無に関わらず必要な休暇などの主張はするべきで、それを受け業務を調整したり互いの妥協点を見つけるのが雇用主側の役割だと思う(30代女性)
- ・子供の有無に限らず、理由があれば休んだり残業を断るのは個人の自由だから(30代女性)
- ・子供もいつか大人になる。限られた時間を一緒に過ごすことは仕事よりも大切。(30代女性)
- ・子供優先だから(30代女性)
- ・時間を大切にすべき(30代女性)
- ・自分の仕事をこなしていれば、問題ないと思う(30代女性)
- ・実際は自分も他人も休みが取りづらく、子供の体調不良による休みでさえ申し訳ない気持ちにさせられる(30代女性)
- ・女性の生理での休み取得が気軽にできたら良いです。個人によって痛みは全然違います。(30代女性)
- ・親が行事に来ないのは子供にとって悲しいこと。(30代女性)
- ・人間仕事のために生きている訳ではないので、みんなでどンドン休むべき。仕事より家族の方が大切。(30代女性)
- ・人生の中で子どもと過ごせる時間は貴重だと思うので(30代女性)
- ・代わりがいれば、行事ごとには参加するべきだし、行事ごとが同じ日に重ならないのであればみんな取って参加するべきだと思う。(30代女性)
- ・当然の権利(30代女性)
- ・働くのは家族の為です。その仕事によって子供とある程度の思い出や行事をも奪われるのは本末転倒。子育てなんて人生の中でほんのいつきです。それを大切に出来ない会社はブラックです。家族や親との時間を充実出来なかった子供が成長しやがて社会に出る事を考えれば…おわかり頂けるでしょう。(30代女性)
- ・年に何回かの子供の行事ぐらい休み希望してもいいと思います もし休みづらい会社なら辞めます(30代女性)
- ・夫も主の保育者だから(30代女性)
- ・予め予定がわかっているのであれば、それまでに仕事の区切りがついていけば問題ない。出張に関しては、その人じゃないと無理な場合以外は断ってもいいんじゃないかと思う。(30代女性)
- ・与えられている個人の仕事をしっかりやっている、または周りがフォロー出来れば全く問題ない事であると思います。そうしていかなければ共働きと育児の両立は無理です！(30代女性)
- ・鬱になりやすいクラスターは、子供を持っている働き盛りの人たちと言われています。勤務時間もあつてないようなものなものです。働く人を子供のために積極的に休ませたり、仕事を軽減してあげて、子供がいても仕事を長く続けられるようにするのは当然のことではないでしょうか。(30代女性)
- ・お互い様だから(30代男性)
- ・プライベートが充実してこそ成果、効率が上がる(30代男性)

- ・家族との時間を大切にすべきだと考えるから。(30代男性)
- ・家族を第一に考えるのがいい。(30代男性)
- ・家庭が優先されるべきである。仕事の都合は互いに助け合うべき。(30代男性)
- ・家庭や家族があつての仕事。授業参観や運動会など、積極的に参加したいし、部下にもさせたい。(30代男性)
- ・家庭優先。そもそも休めるように仕事をコントロールすべき(30代男性)
- ・各人の仕事に極力支障は及ぼさない配慮を前提にして、お互いさまの精神でカバーし合える組織であると、組織で生み出す成果、効率はアップすると思う。そして、こども時代は有限。しあわせなこども時代の思い出は親にとっても子にとっても生涯かけがえのない宝物になります。(30代男性)
- ・仕事も大事だけど、こども、家族との時間も大事。(30代男性)
- ・仕方ない(30代男性)
- ・子供との時間は限られているから(30代男性)
- ・子供のイベント事に参加出来ない様な職場は魅力が無く、その様な職場にしたくないから。(30代男性)
- ・親が参加することで子供が喜ぶのであれば、できるだけ参加した方がいい。(30代男性)
- ・全員がとりやすい環境を作ることが大切(30代男性)
- ・お互い持ちつ持たれつ(40代女性)
- ・お互い様(40代女性)
- ・お互い様に休みやすい環境作りに努めている。(40代女性)
- ・こどもの成長を見ることが親の権利だから。(40代女性)
- ・それが普通と思っているから。子供の為に休みを取るのは当たり前だと思っています。(40代女性)
- ・より必要な人に譲る方がいい。お互い様。(40代女性)
- ・育児のために気がねなく休みを取れる社会にしていくことが少子化対策になると思う。(40代女性)
- ・一生のうち、子どもと過ごせる時間は短いから(40代女性)
- ・一律に皆んなが平等であれば、安心して休暇を取得したり、残業を断ることができるから。陰口を言われない社会になってほしいからです。(40代女性)
- ・家族のために働く人がほとんどであり、その家族のために休めないのは、本末転倒であると感じます。(40代女性)
- ・家族の為に仕事をしているんだから家族の都合でやむおえない場合は仕方ないと思う(40代女性)
- ・家族は大切です。仕事のために家族にさみしい思いをさせてはいけません。(40代女性)
- ・家族より大切なものはありません。(40代女性)
- ・家庭がうまく回らないと仕事にも差し支えるから(40代女性)
- ・家庭以外での、子供の様子を知るのは、とても大切な事だと思うからです。家族を大切にできない人は、部下も同僚も大切にできません。(40代女性)
- ・休む事が可能で、そうしたいと思うのなら、そうすればいいと思う(40代女性)
- ・休む事によって他の方が負担にならないような環境を会社が作って欲しい。※言うだけではダメ。上の人が実行しないと下はやらない。(40代女性)
- ・休暇は個人の自由な権利だと考えます(40代女性)
- ・教えてください の前に、問 19 に疑問を持った(40代女性)
- ・仕事に関してはお互いにフォローし、予定を組み直したり色々やり方を変えることはできますが(難しい場合もありますけど)そもそも子どもの行事は親が計画した予定ではなく、学校や地域で決められた日に実行されて、そこに子ども達が参加しますし、そこに親が付き添いや観覧するのは保護者として当たり前だと思います。日常的に共働きの子どもは、留守番が多いので、行事くらいは親もちゃんと参加してあげたいと思います。(40代女性)

- ・仕事の代わりはいるが親の代わりはない。(40代女性)
- ・仕事はきちんとすることが前提として、ワークバランスは大切だと思う。(40代女性)
- ・仕事はフォローしあえる体制をつくっておく(40代女性)
- ・仕事は代わりがきくが、親はそうではないので。(40代女性)
- ・仕事も大切ではあるが、最終的にいちばん大切なのは家族である。(40代女性)
- ・仕事も当然大事だけれど、子育てについても男女問わず家庭内の役割分担やしつけの方針はさまざまだし、今の瞬間しかない子どもとの関わりが大事だと思うから。(40代女性)
- ・仕事より家庭が優先だと思うから(40代女性)
- ・仕事より家庭の方が大切だから(40代女性)
- ・仕事より子供が大事(40代女性)
- ・子どもの行事の為に休む事は正当な理由であると考えている為(40代女性)
- ・子育てしていると 予想外の事が増えるので(熱を出した、行事の出席など)仕事の休暇、変更は柔軟である制度であってほしい。(40代女性)
- ・子育てに関わらず、プライベートの充実が大事だから。(40代女性)
- ・子育ての時間から得る経験は、仕事につながると思うから。(40代女性)
- ・子供が小さい時にしか行事などに出席できないと思うから。(40代女性)
- ・子供が小さい時は自分も休暇を頂いて行事に参加したし、同僚や部下も同じにすることは当然と思う。(40代女性)
- ・子供が優先されて然るべき(40代女性)
- ・子供の行事やイベントに親が参加するなんて長い人生でも数える程なんだから、思い出の為にぜひ休んで参加してほしい。(40代女性)
- ・子供を中心に考えているから(40代女性)
- ・私は働くけど子供が世界でいちばん大事(40代女性)
- ・自分の子供が小さい時に休みを取得する事によって後に後輩等が休みを取ることに理解してあげることが出来ると思うし、小さい時程、子供の為に時間を作る事で子供自身も嬉しいと思うし記憶にも残って大きくなって理解出来るようになったとき、どうしても時間が作れなくなったとしても分かってくれると思う。(40代女性)
- ・少子化で机上の育児を語る人が増えました。育児は本に載っているようにはいきません。札幌でまた2歳児が死にましたが、ひとり親を助ける周りの手があれば助かったかもしれないのに、母親だけが悪いかのように取り上げられています。今のところ落ち度はないように思います。地域で育てるべきです。(40代女性)
- ・親なので当たり前(40代女性)
- ・先輩の自分が積極的にとれば、下の人も取りやすい。(40代女性)
- ・中学生位までは子供の行事に参加したり関わることは大事だと思う。(40代女性)
- ・お互い様だから協力する(40代男性)
- ・お互い様なので(40代男性)
- ・その人だけしかできない仕事ならしょうがないが、みんながカバーしてあげれば大丈夫(40代男性)
- ・それが当たり前だと思うけど、実際は遠慮するよなあ(40代男性)
- ・なんとでも調整つくので問題ない。(40代男性)
- ・プライベートが充実してこそその仕事だと思う。(40代男性)
- ・家族にとって公私両方の充実が大事だと思う(40代男性)
- ・家族優先(40代男性)
- ・家庭が充実することが、仕事などのモチベーションにいい影響を与えるとと思うから。(40代男性)
- ・家庭が第一(40代男性)

- ・家庭も大切にしたいし、大切にしてもらいたいから。(40代男性)
- ・仕事が優先ではなく家族がいてくれるからいい仕事ができるモチベーションになると思うから家族を大切にすべき(40代男性)
- ・仕事と家庭の両立のため(40代男性)
- ・仕事はお金の為。家族との時間が最優先。(40代男性)
- ・仕事は選べるが家族は選べない。断る事をよしとしないなら職場を変えれば良いのかと。(40代男性)
- ・仕事より子供優先は当然(40代男性)
- ・仕事上必要な場合を除く(40代男性)
- ・子どもと過ごせる期間は一時です。大事にするべきです。(40代男性)
- ・子育て中にそんな機会は思ったより多くないから(40代男性)
- ・子育て等の家庭に配慮した会社が素晴らしいと思うから(40代男性)
- ・子供が小さい時どう関わるかによっても、成長や子供の性格等に影響すると思います。(40代男性)
- ・子供の人生や自分自身の人生に於いて子供の行事などはほんの一瞬の出来事ですので1日2日休んで人生を豊かにする方を選ぶべきです。それが仕事のやり甲斐やモチベーション維持に繋がる筈です。(40代男性)
- ・子供の成長の為の仕事なのだから優先順位はまず子供の事(40代男性)
- ・子供の成長は早いからなるべく参加する方が良いのでは？(40代男性)
- ・時代的に受け入れるべき(40代男性)
- ・自分のみが仕事をしている訳ではない(40代男性)
- ・軸足を家庭に置くことは当然である(40代男性)
- ・生活のための労働であり、優先すべきは生活である。(40代男性)
- ・当然の権利であるし、理由によって断るなんてナンセンス(40代男性)
- ・あたりまえのこと(50代女性)
- ・そうしなければ変わっていかないから(50代女性)
- ・その為に有給休暇がある。ただ、周りの事も考えつつ取るならば。(50代女性)
- ・その方がみんなが働きやすいと思うから。(50代女性)
- ・一度しかない子供の思い出は一緒にいてあげるべき(50代女性)
- ・運動会等の行事に行かないのは子供がかわいそう。でも遊びに行くのに休みを取るのには皆に迷惑がかかる。また、子供が小さく保育園等にいて面倒を見てくれる人がいなければ、出張や残業も無理。(50代女性)
- ・家庭が第一だから。(50代女性)
- ・家庭での充実が良い仕事に結びつくと思われるため。労働者の当然の権利として働き方を選ぶことができると主張したい。(50代女性)
- ・家庭や子供優先で良いと考えている(50代女性)
- ・休みを取ることや出張、残業を断る事で周りの仲間に迷惑をかける事がない限りは構わないと思います。休みを取りたい理由は人それぞれです。(50代女性)
- ・休日を取ることは、大切な事だと思います。我が家は、結婚してから直ぐに単身になりました。主人は、家庭の在り方 家族との生活より仕事に重点を置く人生です。子供も父親の愛情を必要としない生活 小さな単位かもしれませんが 1つの家庭が幸せであれば 地域も 国も 充実した社会になると思います。仕事も家庭も お互いが協力すべきです。(50代女性)
- ・仕事も家族もどちらも大事で優先じゅんいはつけにくいので(50代女性)
- ・仕事や会社の為だけに働いているのではなく、家族や家庭の為に働いているのであり、私生活が充実しているから仕事も頑張れると思っているから。(50代女性)
- ・子どもに関われるのは、ほんの十数年。その大事なひと時を休みを取って過ごすのは、当たり前だと思う。同僚や上司がカバーしあって、仕事を回して行けば、次の世代も同じようにカバーし合う関係になっていくものだと思う。(50代女性)

- ・子どもの行事が優先される働き方になってほしい(50代女性)
- ・子は社会の宝！(50代女性)
- ・子供が学校に通ってる間は子供のことを優先して休みを取りたい。学校を卒業したら他の子供がいる従業員が休めるようにフォローすればいいと思います。(50代女性)
- ・子供だけでなく家族の成長や変化に立ち会うのは当然の権利だと思う(義務ではなく権利！)(50代女性)
- ・子供と過ごす時間を大切にしたい、してほしい。(50代女性)
- ・子供のその時は貴重な時間であるから(50代女性)
- ・子供の行事は、その時しかない 例えば、小学校の入学式は、一生に一度しかない(50代女性)
- ・子供は2人で協力して作った事なので有給休暇は絶対必要(50代女性)
- ・親としての権利(50代女性)
- ・単身者とは、違う。(50代女性)
- ・二度と戻らない、仕事より大事な時間だと思います。仕事より優先、養育は子どもの一生につながるから(50代女性)
- ・ワークライフバランスの観点からあたり前のことだと思う(50代男性)
- ・家庭以上に大切なものは無いから(50代男性)
- ・休む事によってリフレッシュになると思う(50代男性)
- ・男性・女性問わず子供の成長を見守る必要があると思うから(50代男性)
- ・当然の権利(50代男性)
- ・子育ての期間はそれ程長くないので、積極的に関わらべきだと思うので(50代答えない)
- ・それが当たり前だと思いますし、そうあるべきだと思います(60代女性)
- ・家族の構成が違うので、子供を見てももらえない環境の人には無理だと思う。(60代女性)
- ・帰宅後、家の中で子供の面倒を見る人が他にいない場合もあり、職場の方が考慮すべき問題かと思う(60代女性)
- ・子どもにとって、親の代わりはいないので。(60代女性)
- ・子どもの成長を子どもとともに共有したい(60代女性)
- ・子供は夫婦二人で育てるべきだと思います(60代女性)
- ・自己愛から利他愛を育むためにも大事なことと思います(60代女性)
- ・何よりも家族が、優先！(60代男性)
- ・何より子育て優先で。(60代男性)
- ・家族が1番仕事2番(60代男性)
- ・個人の権利だから(60代男性)
- ・仕事も大事だけど子供との時間も大事だから(60代男性)
- ・自分の生活を大切に過ごす為(60代男性)
- ・働き方改革(60代男性)
- ・本人の意思で、自由に取得出来るのが良い(60代男性)
- ・子どもは、社会で育つと考えると、同僚も協力できると思う。(70代女性)
- ・子供を育て、少子化を防ぐ(70代女性)

▼[自分が休む場合]:そう思う / [同僚や部下が休む場合]:どちらかと言えばそう思う

- ・行事優先(20代女性)
- ・ワークライフバランスが大事だと思うから(30代女性)
- ・家族の理解があってこそ仕事出来るから(30代女性)

・育児は、どちらか子の状況に合っているほうがやると良い。(60代女性)

▼[自分が休む場合]:どちらかと言えばそう思う / [同僚や部下が休む場合]:そう思う

- ・家庭を大事にできる世の中であってほしい(20代女性)
- ・同僚が部下が休むのは構わないが、自分で休むのには申し訳なさを感じ少し気を使う(20代女性)
- ・言いづらい(30代女性)
- ・仕事も大事だが、私生活あつての仕事なので、家族を大事にしてほしい(30代女性)
- ・仕事柄行事があると休みにくい、人手不足で休みが取りにくい(30代女性)
- ・子どもとの時間を大切にすべきだと思うので(30代女性)
- ・子どものためであれば休むことは構わないと思うから(30代女性)
- ・子育てにおいて 子供と親と一緒にいる時間 とくに小さい間は子供の心身の成長において とっても大切だと子育てしていて感じます。(30代女性)
- ・自分が休むとなると申し訳なく思うが周りが休むことがダメだとは思わないし協力したらいいと思う(30代女性)
- ・自分が休んだり、断ることで迷惑をかけてしまうことが申し訳なく言い出すことに勇気がいるが、同僚、部下は自分がカバー出来るところはしようと思うので休んで欲しいと思う。(30代女性)
- ・自分は言いづらいけど、気にせず取れる社会になって欲しい(30代女性)
- ・自分は子供がいるので他人に対しては理解できる。でも、全ての人が同じ理解ではない。(30代女性)
- ・女性男性関係なく休める環境が必要だと思うから(30代女性)
- ・職場の雰囲気は休みを取得しやすいが、後ろめたさがある。(30代女性)
- ・自分はみんなの了承もらって大丈夫ならよいが、他の人たちにはあげたいから(40代女性)
- ・各家庭の事情である(40代男性)
- ・仕事も重要ではあるが、それ以上に家族のほうが重要である(40代男性)
- ・その時々で得られる事柄を、大切にしたい。時間を戻すことはできないから。(50代女性)
- ・子育ては期間が限られているから。ただし、誰かにしわ寄せが行くかもしれない事は自覚するべき。(50代女性)
- ・自分も休みたかったが上司が嫌味など言うため休めなかったので同僚の場合は嫌な思いをしないよう家族との思い出を大切にしたい(50代女性)
- ・若い頃働いていた職場でも、子供がいる人は学校行事で休みを取る人が多かったから当然だと思っていた。でも、自分がそうするのは抵抗がある。(50代女性)
- ・主人は子どもの行事等で仕事を休む事はありませんでした。子育て中 30年ほど前で今とは違いますが父親参観等お父さんの行事がある時お父さんが出れない事で息子はなかったのですが娘が幼稚園や学校に行かないと言っていました。(50代女性)
- ・同僚が所得するのは是非協力したいが自分の場合は出来るだけ、所得しなくても良いようにシフトを工面します。(50代女性)
- ・この同調圧力は不要(50代男性)
- ・子育てはずっと続くものではない。子供との時間を大切にすべきだと思うから。(50代男性)
- ・人其々の生き方がある(60代男性)
- ・可能な限り、子供のイベントには参加する(70代男性)
- ・大切なことだから(70代男性)

▼[自分が休む場合]:どちらかと言えばそう思う / [同僚や部下が休む場合]:どちらかと言えばそう思う

- ・業務に大きな支障がないのであれば自由だと思う。全体人数の2割程度が休んでも業務に支障が出にくい体制づくりを心がける必要があると思う。(20代女性)

- ・残業・出張が、別日にずらせたり他の人でも替えが効いたりする場合は、子どもとの時間を優先して問題ないと思います。(20代男性)
 - ・お互い様(30代女性)
 - ・お互い様だから(30代女性)
 - ・お互い様なので。(30代女性)
 - ・シフト制なので前もってわかる所は前もって言う突発な事は子供を持つ親であれば仕方がないから(30代女性)
 - ・仕事の内容や業務時間帯、シフト仕事かどうか、従業員の人数にもよるので周りのことを考えずに好きな時間に好きな日にちにとというのはどうかとは思うができる範囲内では協力をしたいとは思う。(30代女性)
 - ・仕事ばかりにかまかけて、子供を蔑ろにするのは違う気がする。(30代女性)
 - ・仕方がない(30代女性)
 - ・子供の行事や緊急時には休み、遅刻、早退はいいと思う。出張や残業を毎回断るのは良くないが前から言っていて決まっていた、たまに断る程度ならいいと思う。(30代女性)
 - ・状況にもよりますが、家族あつての仕事なので(30代女性)
 - ・職場の決まり事で働いているのであれば、文句はない。(30代女性)
 - ・頻度にもよるが、学校行事(参観日や運動会等)や急な発熱などは子どもの側に親がいたほうが良いと考えるため(30代女性)
 - ・家族という時間は大切にすべき。(30代男性)
 - ・会社の業務に支障とならない範囲で、個人の都合は優先されるべきと考えているから(30代男性)
 - ・業務内容や人員配置の状況により、休める休めないがあると思う。(30代男性)
 - ・断る理由がないし、お互い様なので。(30代男性)
 - ・お互い様ですね。皆も昔は子どもだったんだよ。(40代女性)
 - ・そのような欠員補充をするのは労働者でなく雇用者なので(40代女性)
 - ・それぞれの事情があるので構わないとは思いますが、その事により職場の方々に迷惑がかかったり、配慮を当たり前と思うのは違うと思います。(40代女性)
 - ・休める時は休んでいい(40代女性)
 - ・仕事の為に家族が犠牲になってはならないと思う。愛情をかけてもらわなかった子供が社会人、大人になったとき、他人や社会に愛情をもって接する人になりにくいと思うから。(40代女性)
 - ・仕事の内容にもよるができるだけ残業や出張は調整するべきであると思う。(40代女性)
 - ・仕事の内容によるが、人員の問題であればそれは経営側の問題であり休みが取りたい本人の希望は積極的に通すべきである、子供の為に(40代女性)
 - ・子どもの成長は今しか見られないし、子ども優先で生活したいので。困った時はお互い様なので休むのはいいと思う(40代女性)
 - ・子供との時間は、他の誰かではダメだから(40代女性)
 - ・子供との時間も大切にすべき(40代女性)
 - ・子供のために(40代女性)
 - ・子供の行事は一生に一度しか来ない機会なので、他の人が対応可能で有れば代わってあげて、休ませてあげたい。(40代女性)
 - ・子供の躾、教育、育てる、生活、当たり前のこと(40代女性)
 - ・事前から決まっている事であれば問題ないと思う(40代女性)
- ”・時間をやりくりして、同僚に迷惑がかからないよう、業務時間内に仕事をする。
 難しいのなら上司に相談し、仕事内容を変えてもらう。
 時間外で補填するのは違うと思う。(40代女性)”
- ・難しい質問❷ 私なら子供の行事後に出張に行くようにしてもらいますかね？ 残業は別に出来る日で良いと思いますが(40代女性)
 - ・平等の権利ではあるが限度はあると思う(40代女性)

- ・無理じゃない範囲内でとればいいと思う(40代女性)
- ・お互い様(40代男性)
- ・みんな平等になればいいと思うから(40代男性)
- ・家庭は大事。しかし、仕事も大事なので時と場合による。全てにおいて家庭優先は容認出来ない。(40代男性)
- ・許される範囲であれば(40代男性)
- ・権利を強調しない程度だとありだと思う(40代男性)
- ・仕方ないと思うから。(40代男性)
- ・子どもと過ごすことが、いつでも仕事より重要とは限らない。仕事の重要性によっては、仕事を優先しなければならないことがある。(40代男性)
- ・人手が足りない場合は休めない。(40代男性)
- ・担当者しか出来ない業務も少なからずあるため。(40代男性)
- ・賃金労働の義務と権利、勿論家族の行事は大事なので時間が取れる限りは取るべきですが、労働契約で賃金を貰っている以上、休む前の周り(同僚やお客様)に迷惑をかけない根回しや配慮が最低限のマナー、それを怠らなければ問題無し。(40代男性)
- ・これからはそういう時代だと思う(50代女性)
- ・どうしても、他に頼む人がいなければ休むしかないから(50代女性)
- ・どのような理由で有ろうと、休みを取る事は認められるべきだから(50代女性)
- ・核家族化が進み配偶者への負担が大きくなっている中で子供の行事のためなら休んでもいいのでは。(50代女性)
- ・学校の行事で仕事の休みをもらえなく 子供に辛い思いをさせた経験があるから(50代女性)
- ・現実問題、職場によっては休みにくいもしくは、休むんだと思う場合がある。(50代女性)
- ・仕事の業務や内容によりによって変わる(50代女性)
- ・仕事の代わりは居るが、父親は1人です。(50代女性)
- ・子育てするのに必要な事だと思うから(50代女性)
- ・子育てできるのは一瞬だから、そんな時位はゆっくり過ごし互いに思い出をつかった方がいい。(50代女性)
- ・親の代わりは居ないので(50代女性)
- ・親子の思い出を増やしてあげたい。将来、糧になる。(50代女性)
- ・限られた家族との時間を大切にしてほしい。(50代男性)
- ・後にお互いにとって大切な意味を持つものになるから。(50代男性)
- ・仕事を休んでばかりもいられないが、子どもの行事を観に行ったり、子どもと遊んだりする事も大事。(50代男性)
- ・調整がつけば問題ないと思います。(50代男性)
- ・サービス業の為に、難しい点はある。(60代女性)
- ・職種にも、よるかもしれないが、子供の成長過程で一緒に時間を共有する事は大事だと思う(60代女性)
- ・いずれ来る道、いずれ行く道。職場、家庭ともに協力すべし。(60代男性)
- ・育児は両親の参加が子供のために重要(60代男性)
- ・可能であれば家庭が優先されるべきでは(60代男性)
- ・計画性のある業務予定を事前に立てて周知することが必要(60代男性)
- ・子供に、何かあると、心配なので。(60代男性)
- ・お互いに融通しあえば良い(70代女性)
- ・時と場合あり(70代女性)
- ・人や時間など何とか やり繰りが可能であれば、良いと思う。後は自分の決断です。(70代女性)
- ・昔と時代が違うから(70代男性)

▼[自分が休む場合]:どちらかと言えばそう思う / [同僚や部下が休む場合]:どちらかと言えばそう思わない

・頭でわかっているけど、それくらいで休んで他人に迷惑かけるなと思ってしまう。休んだ人の分を周りが負担しなければならない、会社のせいではある。(40代女性)

▼[自分が休む場合]:どちらかと言えばそう思わない / [同僚や部下が休む場合]:そう思う

- ・自分の場合は人にどう思われているか気になるため(20代女性)
- ・自分は取りづらと思うが、相手が休みを取ること自体は気にならない(20代女性)
- ・身近な人が子供の為に休んだりすることは全然嫌ではなく、むしろ賛成だが、自分が休んだりするのは気がひける。(40代女性)
- ・自分の子どもには、子も親も責任をもってそれぞれの仕事をするべきだと伝えたい。(40代男性)
- ・昔は難しかったが今は時代が違いコンプライアンス的にも取らせなければならない。(50代男性)

▼[自分が休む場合]:どちらかと言えばそう思わない / [同僚や部下が休む場合]:どちらかと言えばそう思う

- ・役職上自分は厳しいが本音は休みたい。部下に同じ思いをさせたくない(30代男性)
- ・世代の差などによる(50代男性)
- ・自分が子育てしていた時は周りも同じである程度の助け合いはあった。時期を過ぎた時はなるべく協力してあげたいの気持ちがあったけれど常に当てにされるのもきついな…。(60代女性)
- ・自分がやらなくてはならない仕事なら仕事優先させるが、他人にまで自分の考えをおしつけない。(70代男性)

▼[自分が休む場合]:どちらかと言えばそう思わない / [同僚や部下が休む場合]:どちらかと言えばそう思わない

- ・その時の仕事の状況による。(40代女性)
- ・学校行事は仕方ないがその他は仕事が休みの日に子供と過ごせばよい(40代女性)
- ・企業によるけど15人前後のギリギリの人数の職場ですが休めるだけの人員がないため病欠以外で休まれると皺寄せがくるので勘弁して欲しいし短期で雇うだけの潤ってる会社じゃないし募集しても人が来ない人気のない安い仕事だから。(40代女性)
- ・休みや残業は構わないと思うが、出張は行くべき(40代女性)
- ・行事で休むのは仕方ないが、出張や残業を断るのは同じ仕事をしていて不公平。(40代女性)
- ・子供がいないから(独身)別にいいでしょう？……って考えの人には、協力したくない。子供がいない人(独身)は、親の介護をしている場合もある。(40代女性)
- ・人員不足で業務に支障が出る(40代女性)
- ・マスコミとかが男女差別と一括りに言うが、男と女は構造上別の生き物なのでしっかりと区別しての適材適所だと思う。男だからとか女だからと言えない世の中がおかしいしっかりし男女区別をするべきだ。(40代男性)
- ・自分がいなくても周りに迷惑をかけたり現場が回るなら休めば良い(40代男性)
- ・積極的に子供の行事に参加は構わないが、断る頻度による。どの様に生活が成り立っているかを、教えるのも教育ではないか？(40代男性)
- ・休んでもしっかり仕事が回るのは、大企業や公務員だけだと思うから。(50代女性)
- ・仕事をしているのであれば他の職員と同じ量、内容をこなさなければいけないと思う。子供がいる事は理由にならない。(50代女性)
- ・普段から子どもが熱を出した風邪をひいたなどで早退や休むといった人が、自分は子どもがいるから当たり前と思っている人が多いと思います。その人が今度は旅行や学校で休むとなると、さすがにまた？とってしまいます。休むことは悪くありませんが、負担してくれる人がいるから休めるんだと理解し感謝してほしい。(50代女性)
- ・子供のために休むことで、職場に迷惑がかりそう。特に、小さな職場だと。(60代女性)
- ・時と場合によると思う、今の若い人の自己主張ばかりでは社会が回らない(60代女性)

- ・自分の予定に合わせて仕事もこなしていかなければ 他の人の負担になるだけ(60代女性)
- ・同僚に迷惑がかからない範囲であれば良いと思いますが、そうでない場合は取るべきではないと考えます。(60代女性)
- ・ケースバイケースですが、社会人として仕事を優先する上で、家族サービスをすることで良いと思います。(60代男性)
- ・仕事の内容によりけり(70代男性)

▼[自分が休む場合]:どちらかと言えばそう思わない / [同僚や部下が休む場合]:そう思わない

- ・現代の考え方は、甘い!!(50代女性)

▼[自分が休む場合]:そう思わない / [同僚や部下が休む場合]:そう思う

- ・自分は仕事優先、周りは、家族優先してほしい(40代男性)
- ・出世するには休んでいたら本音ベースでは評価されない(40代男性)

▼[自分が休む場合]:そう思わない / [同僚や部下が休む場合]:どちらかと言えばそう思う

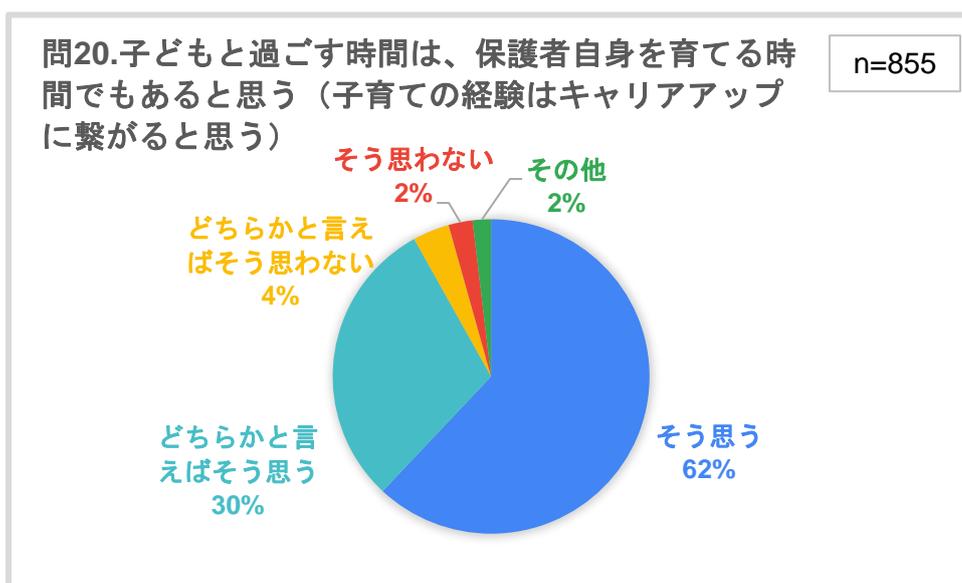
- ・自分で選択するものだろうから自分が決めれば良い(30代男性)

▼[自分が休む場合]:そう思わない / [同僚や部下が休む場合]:どちらかと言えばそう思わない

- ・基本的には、休暇取得には賛成ですが、職場体制及び取得時期等による。(60代男性)

▼[自分が休む場合]:そう思わない / [同僚や部下が休む場合]:そう思わない

- ・子供が居ない人が負担になりそう(30代女性)
- ・子供のために休んで良いとは言うけど自分に仕事の負担かかるので本音は休んで欲しくない(30代女性)
- ・自分の仕事を他の人に押し付けて休みを取るから。(30代女性)
- ・子供いない人ばかり損(50代女性)
- ・ありえない(70代女性)

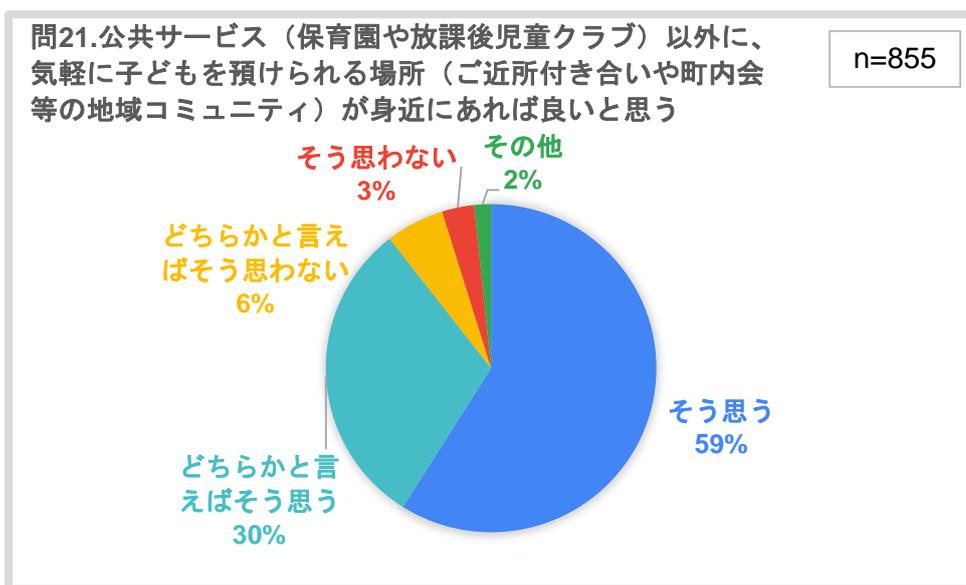


分析コメント

▼ 9割以上が肯定的な回答です。

▼「その他」へのコメント

- ・職場次第(20代男性)
- ・違う価値観は少し身についたように思う。(30代女性)
- ・子供と過ごす時間というより子育てが自身の成長に繋がるとは思う。(30代男性)
- ・子供を理由にしないでほしい。(40代女性)
- ・自分は子育てをして人生が変わった。子供がいるから幸せ。でもない選択をする人の思いも大切にしたい(40代女性)
- ・保護者の人間的成長を促すが、キャリアアップとは直接関係ないと思う。(40代男性)
- ・保護者自信の成長に繋がるという言葉で美化すべきではないが、人生経験としては大きいと思う(40代女性)
- ・キャリアアップというよりは 人としての成長が出来るのでは。守らなければならない責務、人を尊重する尊厳を守る心、そして人としての誇りを持つようになるのでは。(50代女性)
- ・そう思えばそうだし、思わなければな。(60代男性)



分析コメント

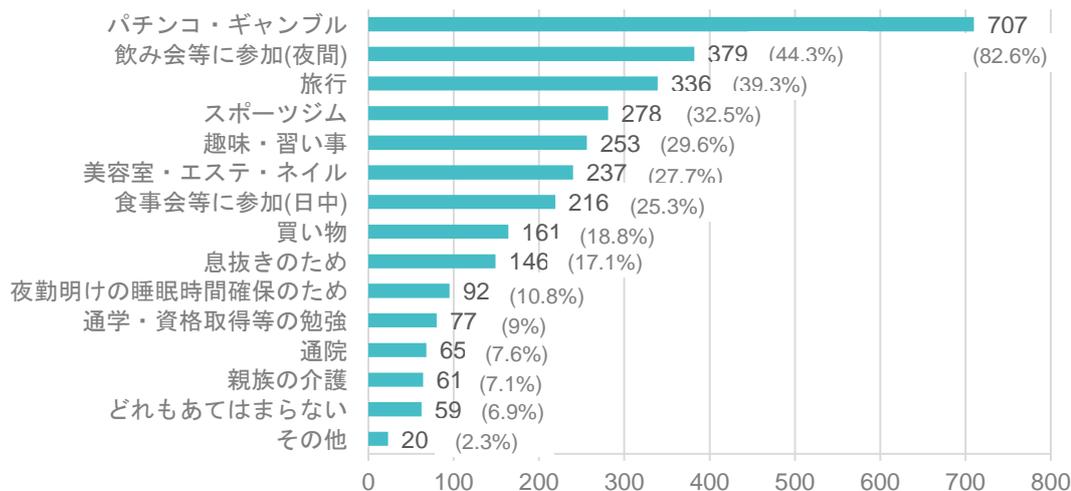
▼ほぼ9割が肯定的な回答です。

▼「その他」へのコメント

- ・託児のトラブルも多いので、預けられれば誰でもいい訳ではない。(20代女性)
- ・保育園や学童などは時間が決められていて、今の仕事だとお迎えに間に合わない事があって不安。毎回ファミリーサポートを使うのは割高だし、実家が離れていたりするので、子供が小学生になったら仕事の時間を変えなきゃいけないと思うと不安(30代女性)
- ・有料で構わないので預け先が増えて欲しい。苦小牧はベビーシッターなどサービスの選択肢が少ない。(30代女性)
- ・あると良いが、公共機関ほどの信頼が置けるか疑問(30代女性)
- ・あれば助かると思いますが、信頼性が無いとちょっと怖いかもしれません。(40代女性)
- ・料金を格安で預けられる場所があればいいと思う。(40代女性)
- ・コロナ禍では無理です(40代女性)
- ・プロのいないご近所や町内会等に預けるのはリスクが高い(40代女性)
- ・残業になった時、保育園は 次の預かり施設まで送ってはくれない。遅くまで預かってくれる施設までの送る人がいないと いけない。だから残業が出来ないし、どうしても残業になった場合、本当に困る。(50代女性)
- ・子供から、個人情報が出ていてもいいなら預ければいいんじゃないかな？(40代女性)
- ・良いと思うが、ちょっとした怪我に騒ぐのならやめるべき(50代女性)

問22.保護者が「就労」以外に子どもを預ける理由として、ふさわしくないと思う項目すべてに✓をつけてください

n=855



分析コメント

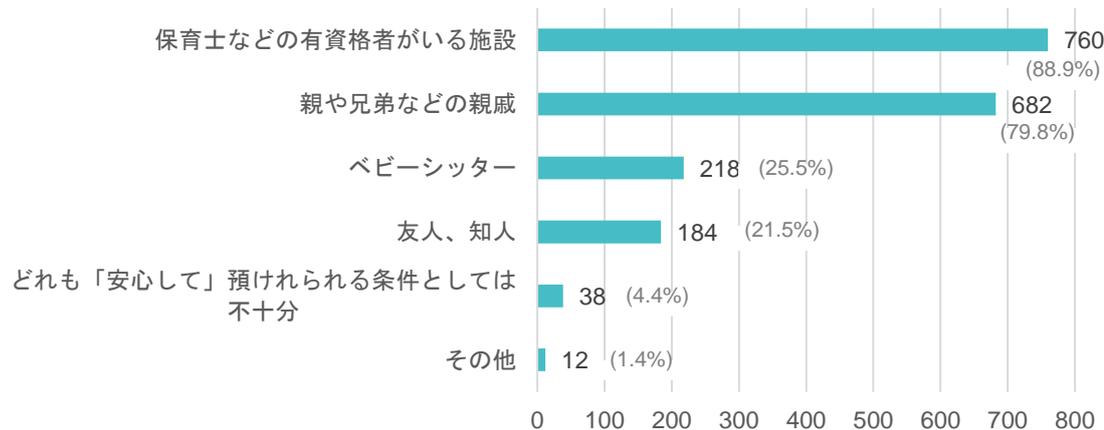
▼「頻度による」「理由はどうであれ息抜きは必要」「DVや虐待防止の観点では必要」といったコメントも寄せられています。

▼「その他」へのコメント

- ・どれも少ない時間であれば良い。どれも長時間、毎回は良くない(20 代男性)
- ・自身のお金の範囲内で利用するのであれば理由は何でも良いと思う。(30 代女性)
- ・頻繁に友達と遊びに歩く(30 代女性)
- ・預かり先が了承していないのに無理矢理預ける(30 代女性)
- ・虐待に繋がるかもという事を考えたら全部必要(30 代女性)
- ・預ける理由は人それぞれだからどれもふさわしくないとは思わない。息抜きだって絶対的に必要(30 代女性)
- ・ギャンブルや旅行も判断が難しいところです。適度でそれによって保護者がリラックスしてまた育児に取り組めてDV等に発展しなければ良いと思います。(30 代男性)
- ・預け先にも寄ります(公的機関に託児するのか、親等インフォーマルな関係者に預けるのか等)(30 代男性)
- ・預け先にもよるが、どんな理由でも少しの時間のリフレッシュは親には必要(40 代女性)
- ・理由としてふさわしくないものはほとんどないと思うが、頻度が多すぎるのはどうかと思う。(40 代女性)
- ・いずれも節度をもって預けている人だけではないので、ふさわしくないと思いますが、それが出来るなら、多少は良いかと思います。(40 代女性)
- ・自分自身は極めて個人的な自己都合で子供を預けようとは思わない。しかし、今のご時世、そこにも手当てしないと子供の命に関わる事件にもつながるとなれば、口は出せないし出す問題ではない。(40 代男性)
- ・頻度にもよります。(50 代女性)
- ・各家庭の事情次第(60 代男性)

問23.子どもを「安心して」預けられる条件すべてに✓をつけてください

n=855



分析コメント

▼「有資格者や親族」と、「ベビーシッターや友人知人」の差が大きく開く結果となりました。

▼「その他」へのコメント

- ・資格があってもセンスや経験がない可能性がある。(20代男性)
- ・信頼できるかどうかはその人による(30代男性)
- ・身内は気を遣うし、対のシッターはそれはまた不安。資格者である第三者が良いと思いますが、その資格者の精神衛生の管理も重要かと思えます。(30代男性)
- ・有資格者が安心と限らないが、いるに越したことはない。(30代女性)
- ・利用者の求めるレベルの情報共有ができること(30代男性)
- ・親戚や友人は人による。ベビーシッターも実績があって会社の信用度が高ければよいが、苫小牧ではあまり一般的ではないので躊躇した。札幌市のように選択肢がもっとあれば預けたかも…(40代女性)
- ・地域のコミュニティ(40代男性)
- ・資格有無に関わらず、顔の見える関係が大切だと思います(50代女性)
- ・親族が近くに居ない。預ける選択肢を余り取ってこなかったで、積極的に友人などに頼らなかった。(50代女性)
- ・自己責任において自由であるべき(60代男性)

問24.出勤日に子どもが発熱等で体調を崩した場合、どうしたいと思いますか(どうすべきだと思いますか)

n=855

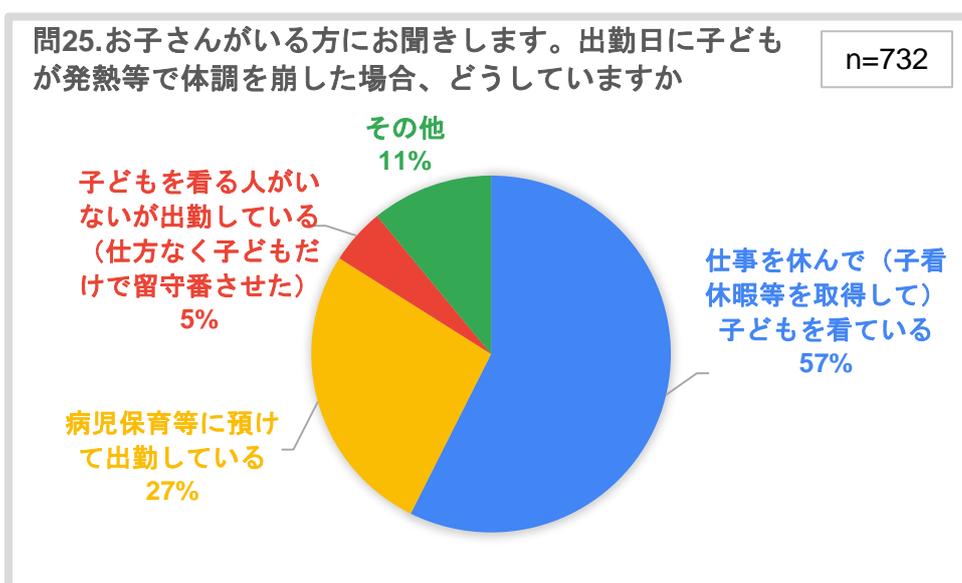


分析コメント

▼ほぼ8割が「仕事を休んで(子看休暇等を取得して)子どものそばにいてあげたい(いてあげるべきだ)」と回答しました。

▼「その他」へのコメント

- ・病状による(20代女性)
- ・その日の仕事内容により(30代女性)
- ・どうしたいというよりも、今のご時世働かないと病院代も稼げないので出勤せざるを得ない(30代女性)
- ・自分は仕事を休んでそばにいてあげたいが、個々の事情があると思うので全員がそうするべきとまでは思わない(30代女性)
- ・状況に応じてで良いかと思います。出勤日だとしても業務を他に振れば、休みを取りたいですし、自身が行分ければいけないプロジェクトがあれば、出勤します。(30代女性)
- ・そばに居てあげたいが、職場に迷惑がかかると思うと預けて仕事に行きたい気持ちにもなる。(30代女性)
- ・自分の仕事はどうしてもその日にやらないといけない場合は、預け先があれば出勤したいが、なければ休みを貰いたい(30代女性)
- ・職場に連れてくる(30代女性)
- ・幸い妻は専業主婦だが、なるべく早く帰りたい(30代男性)
- ・休んでほしいし、従業員も休んでもらってます(30代男性)
- ・見て上げられれば良いが、経済的に苦しい場合は預けても仕方ない(40代女性)
- ・仕事を休んでそばにいてあげたいけど、時給で働いてるから給料が減るのはキツイ(40代女性)
- ・熱の度合いによる(40代女性)
- ・預けれるなら預けて出勤し、なければ仕事を休む(40代女性)
- ・仕事は休む(40代女性)
- ・親のどちらかが休めれば良いが、どうしても無理なら預けざるを得ない。(40代女性)
- ・仕事の状況次第(40代男性)
- ・一概には答えられません、その子供の症状や年齢などで対応は変わると思う、危ないと思えば家族を呼んでお願いしたり休みを取るだろうし、比較的落ち着いていて自分である程度身の回りの事が出来そうな場合は半休で良かったりする(40代男性)
- ・休みたくても休めないのが現実。朝、急に預かってくれる所を探すのも大変。保育園に看護師等もいるのなら預かって欲しい。(50代女性)
- ・地域の方など(50代女性)
- ・ケースバイケース(50代女性)
- ・ケースによりけり(50代男性)
- ・すべき、ではなく子看休暇が取れると良い。(70代女性)
- ・まず医療機関に行く。子どもの状況を判断して、その後は対応する。(70代男性)



分析コメント

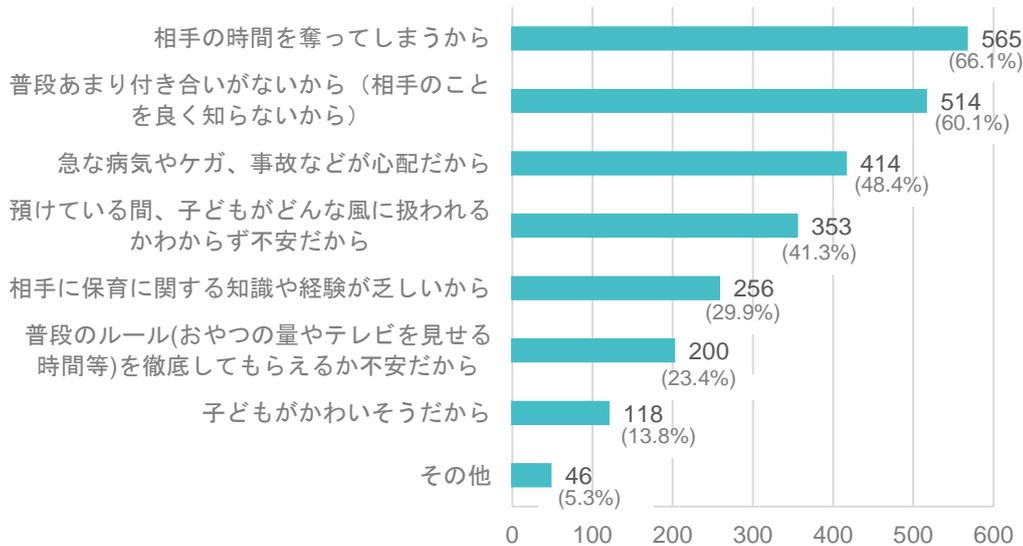
▼問24ではほぼ8割が「仕事を休んで(子看休暇等)を取得して子どものそばにいてあげたい(いてあげるべきだ)」と回答したのに対し、実際にそうできたのは6割弱に留まりました。

▼「その他」へのコメント

- ・親のどちらかが休んでみているか、親にみてもらおう(20代女性)
- ・職場に連れて来てた(30代女性)
- ・必須回答みたいなので部下の件で答えますが、子どもの体調不良時は休んで貰っています(30代女性)
- ・両親が看れない場合は、留守番をさせるか職場に頼み連れて行く(30代女性)
- ・まだこの状況になったことはないが、できれば休みをもらって看病したいと思う。(30代女性)
- ・出勤しなくて良い場合はリモートワークにしています。出勤の場合は、親族に預けています。(30代女性)
- ・まだ小さいのでそういうことが起きていないが、休みたいと思う(30代女性)
- ・家族や親戚で看病してくれる人が居れば出勤し、いなければ自分が休んだ(30代女性)
- ・職場に連れてきていた(30代女性)
- ・働いてませんが、自分がそういった立場だったら自分が仕事を休んで看病したい(30代女性)
- ・どちらかが家にいる状況で看ている(30代男性)
- ・妻が専業主婦なので妻の体調に合わせて出勤するか休むか決めてる(30代男性)
- ・妻が専業主婦のため(30代男性)
- ・妻に仕事を休んでもらってます(30代男性)
- ・自分の場合ですが、子どもを看ながら仕事していました(実家の美容室なので可能でした)(40代女性)
- ・状況によりますが、極力休む(40代女性)
- ・自営業で自宅での仕事場なので面倒をみれる(40代女性)
- ・専業主婦なので私が看ています(40代女性)
- ・年齢にもよる中学生以下なら休んでみる。以外なら熱の温度により早退などする(40代女性)
- ・なるべく親のどちらかが休んだが、どうしても無理な日は祖父母に頼んだ。(40代女性)
- ・仕事は休む(40代女性)
- ・子供が小さいときは休んでいたが留守番できるようになったら留守電させていた(40代女性)
- ・重要な用件がない限り、仕事を休んで子どもを看る(40代男性)
- ・子供の年齢や、体調の様子にもよります。(50代女性)
- ・預かってくれる所が見つからず、会社に謝り連れて出勤。その後、会社から嫌がらせを受け退職に追いやられた。(50代女性)
- ・自営業だったので自宅で仕事しながら看る事ができた(50代女性)
- ・自分でなんとかして(50代女性)
- ・その日による。(50代女性)
- ・病状による(50代男性)
- ・その時の状況によって違う(60代女性)
- ・子育てしていた時は夫の母にお願いした時がありました。(60代女性)
- ・成人してるので(60代女性)
- ・農業だったので仕事をしながら合間に病院へ連れて行った(60代女性)
- ・子看休暇がないときだったので、親にあずけた。(70代女性)
- ・医療機関に連れて行く。(70代男性)
- ・妻(専業主婦)が対応していたが、時には自分が休んで対応することも(70代男性)

問26.親戚や近所の人に子どもを預けるとしたら、預けることをためらってしまう理由のすべてに✓をつけてください

n=855



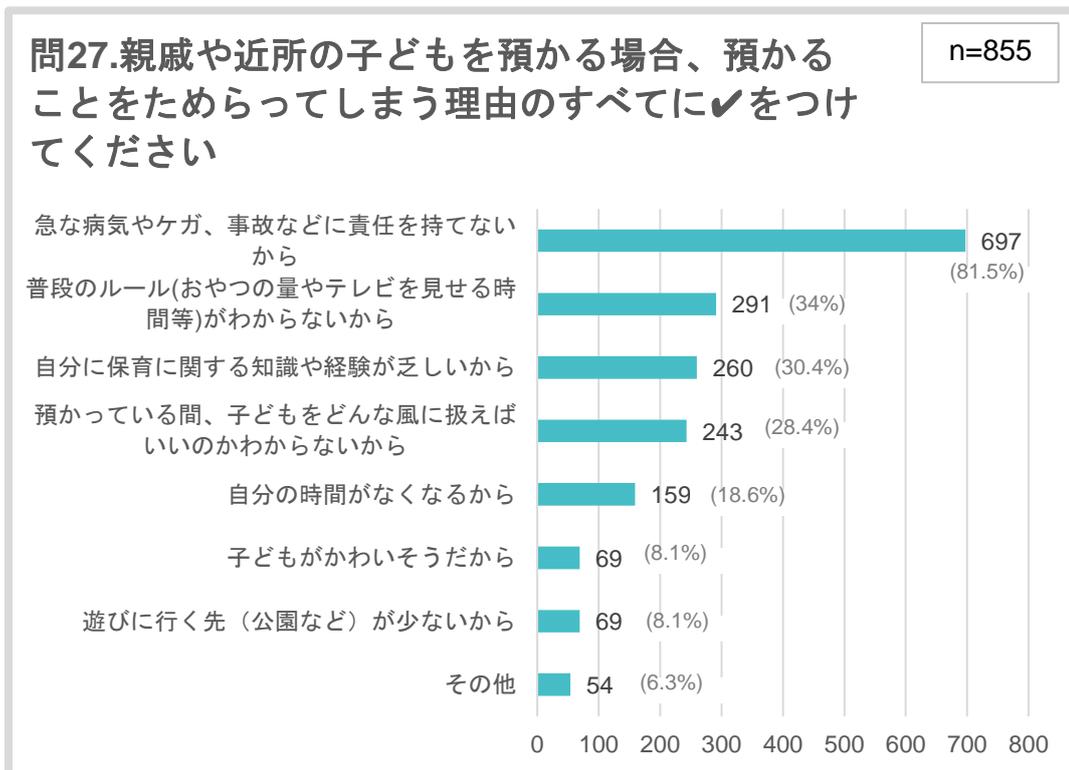
分析コメント

▼預けるにあたっては、「相手に迷惑をかけてしまうのではないか」という懸念をお持ちの方が多くことがわかります

▼「その他」へのコメント

- ・泣いてしまったら相手を困らせてしまうから。(20代女性)
- ・地元じゃないので周りに知り合いがない(20代女性)
- ・仲はいいけど、高齢で足腰が不自由だから(30代女性)
- ・子供に障害があるから(30代女性)
- ・食事やおやつなど金銭的負担をかけさせてしまうことが申し訳ないから(30代女性)
- ・親などが高齢で万が一病気がうつるか心配になる(30代女性)
- ・騒がしくて相手の家の中を汚してしまうんじゃないかと思う(30代女性)
- ・何かあった時に理不尽に相手を責めたり後悔する確率が高そうなので(30代女性)
- ・実母以外信用出来ない(30代女性)
- ・犯罪の可能性が心配(30代女性)
- ・預けるのは信頼してるから特にためらわない!(30代女性)
- ・ためらわない相手がいるので問題ない(30代男性)
- ・相手に迷惑なことをしないか心配(30代男性)
- ・迷惑にならないか気を遣う(30代男性)
- ・迷惑をかけてしまうかと(30代男性)
- ・病気がうつるかもしれないから(40代女性)
- ・知人に責任を持たせるのは負担になるから。親も同じ負担かけたくない(40代女性)
- ・子供が発達障害だから迷惑を掛けるかもしれないため(40代女性)
- ・自分の子供だから(40代女性)
- ・怪我、アレルギー対応、性被害が起きる不安(40代女性)
- ・慣れない育児で迷惑をかけるため(40代女性)
- ・親の協力が得られないから(40代女性)
- ・体調が悪いならそばにいたい(40代女性)

- ・ 子供も 気を使うし、預かって下さる方にも気を使わせてしまう。(50 代女性)
- ・ 気がしれていないと気を遣ってしまう気がする。(50 代女性)
- ・ 事故や怪我等責任問題になってしまうから(50 代女性)
- ・ 預けなければならないなら、自分の感情ではなく、頭を下げてお願いします。(50 代女性)
- ・ 預ける事を考えたことがない(50 代女性)
- ・ ためらわない(50 代男性)
- ・ 誰も居ない(50 代男性)
- ・ 相手に、負担をかけるから(60 代女性)
- ・ ためらわない(60 代女性)



分析コメント

▼預かるにあたっては、「何かあった時に責任を負えない」という懸念をお持ちの人が多く見られます。また、「預かることをためらいません」といったコメントも多く寄せられています。

▼「その他」へのコメント

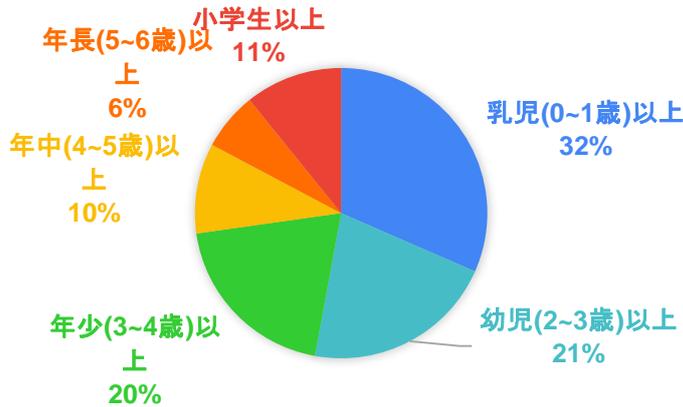
- ・ アレルギーなど、わからない疾患があるため対応出来ないため(40 代女性)
- ・ いつ、仕事が急に入ってくるかわからない仕事なので 難しい。(50 代女性)
- ・ コロナが心配だから(50 代女性)
- ・ 急でなければ準備して対応は可能(30 代女性)
- ・ 産んだんだから責任で育てて(50 代女性)
- ・ 子供に責任を持ってない(50 代女性)
- ・ 子供を預かる事にためらいは無い(40 代男性)
- ・ 事故や怪我等責任問題になってしまうから(50 代女性)
- ・ 時間の都合が良ければ預かる(50 代男性)
- ・ 自分の子供だから(40 代女性)
- ・ 自分の時間がある限りは預かりたいと思う。病気や怪我の心配はあるが、そこを個人だけの責任ではなく行政としてサポートがあれば、地域

や他者が子育てに参加して、いけるのではないかと思います。(30代女性)

- ・信頼関係のある相手でなければ預かれない(30代男性)
- ・信頼関係次第(60代男性)
- ・親子同士が普段からコミュニケーションが取れていない場合(40代男性)
- ・相手を知らなければ、様々なトラブルに発展する。(40代女性)
- ・普段関わりがある子供なら問題はない(30代女性)
- ・物を汚したり壊さないか心配。ペットがいるのでアレルギーや怪我が心配。(20代女性)
- ・迷惑をかけてしまうのではないかと不安になる(40代男性)
- ・預かれる時間が無いから(30代女性)
- ・預けた事がない 信用なし(50代女性)
- ・用事がなければ問題ない(40代男性)
- ・ためらう事はありません(40代女性)
- ・ためらう理由はない(40代男性)
- ・ためらった事は無いが、親の身勝手な内容は断っている。(40代男性)
- ・ためらわない(20代女性)
- ・ためらわない(30代女性)
- ・ためらわない(50代男性)
- ・該当なし(歓迎)(30代男性)
- ・都合があれば、ためらわない(60代女性)
- ・特になし。子供は好きなので預かりたい(40代女性)
- ・特に躊躇う理由ない(30代男性)
- ・躊躇わない(30代女性)
- ・躊躇わないが、強いて言うならその子の性格を知らないならためらう。(20代男性)
- ・預かってもかまわない(40代女性)
- ・預かります(70代女性)
- ・預かることがない(30代女性)
- ・預かることは特にためらわないです。(40代女性)
- ・預かることをためらわない(30代女性)
- ・預かれる時は預かる！信頼して預けてくれるなら全力で面倒みます！(30代女性)

問28-1.孫や親戚の子などを預かって欲しいと頼まれた場合、何歳以上の子どもであれば、自分で預かってもらっても良いと思いますか（子どもは発熱やケガ等をしていない健康な状態と仮定します） [4～5時間程度の預かり]

n=855

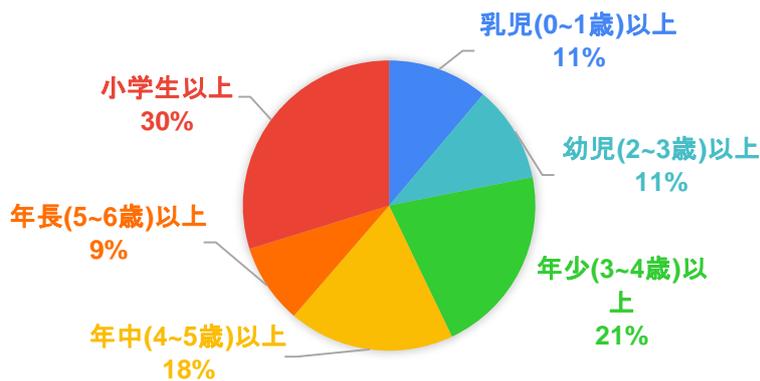


分析コメント

▼[4～5 時間程度の預かり]では、「乳幼児から可能」との回答が半数以上を占めます。

問28-2.孫や親戚の子などを預かって欲しいと頼まれた場合、何歳以上の子どもであれば、自分で預かってもらっても良いと思いますか（子どもは発熱やケガ等をしていない健康な状態と仮定します） [宿泊を伴った預かり]

n=855



▼[宿泊を伴った預かり]では、「乳幼児から可能」は約 20%にとどまり、「小学生以上」と回答した人が 20%増加しています。

問 29.上記問 28 の理由があれば教えてください(N=234)

▼[4～5 時間程度の預かり]:乳児(0~1 歳)以上 ※母乳・ミルク、離乳食などが必要

[宿泊を伴った預かり]:乳児(0~1 歳)以上 ※母乳・ミルク、離乳食などが必要

- ・自分も子育てしてある程度の事は把握しているつもりだから(20 代女性)
- ・必要な場合の預け先がなく困っている場合、自分は保育士資格の習得のために勉強中なので預かりに適していると思った(20 代女性)
- ・やむを得ずだったらみてあげたい(30 代女性)
- ・育児経験があるので、相手の注意事項などを教えて頂ければ預かることは可能です。(30 代女性)
- ・困っている時はお互い様だから(30 代女性)
- ・子育てを経験しているから(30 代女性)
- ・子供が好きだから(30 代女性)

分析コメント

▼「ある程度言葉が話せて、コミュニケーションが取れるようになってから」「排泄を自分でできるようになってから」などのコメントが寄せられています。

- ・親類ならば自分の子供を預かってもらう機会も多く、お互い様だから(30代女性)
- ・特に大変だとは思わない(30代女性)
- ・赤ん坊なら寝ている時間の方が多く対して手もかかりません。大変なのはちょこちょこ歩き回る且つ言語理解も乏しい年齢は逆に預かり辛い。(30代女性)
- ・相手が自分に預けても大丈夫と思っていたり、仕方ない事情があって困っているのであれば、出来るだけ協力したい(30代女性)
- ・特別こだわりが無いのであれば子育て経験はあるので預かれる(30代女性)
- ・保育士なのである程度は預かれるが、関係性にもよる(30代女性)
- ・保育士の資格を持っているため(30代女性)
- ・夫婦で子供が好きだし、妻は保育士なので歓迎(30代男性)
- ・保育士である(30代男性)
- ・何歳でも預かるのは変わらない(40代女性)
- ・慣れているので(40代女性)
- ・困っている時はお互い様なので出来るだけ協力したい。子育てをしているので何歳だから無理とはならないと思う。(40代女性)
- ・孫なら大丈夫(40代女性)
- ・保育教諭で働いているので、どの年齢でも大丈夫です！(40代女性)
- ・歩くようになったお子さんの方が、ケガの心配があるので不安です。(40代女性)
- ・預けたい理由次第では何歳でも問題ない。(40代女性)
- ・どうしても仕方ない理由なら産まれたてでも預かる(40代男性)
- ・子どもを預けなければならぬ、やむにやまれない理由があるのだから、年齢は関係ない。(40代男性)
- ・経験があるのでできると思う。但し、やり方を全て聞いて確認する。(50代女性)
- ・母親が入院することになり 預ける施設も無く 父親は仕事を休めないの その子を預かった経験がある(50代女性)
- ・子育てし、保育園で仕事をしているので(50代女性)
- ・色々な子供を預かった経験があるため特に年代や時間帯は気にならない(50代女性)
- ・多少の知識と育児経験から(50代女性)
- ・必要とされれば、できる限りの事に協力したいので(50代女性)
- ・付き合いが有り、何度も会っているなら 大丈夫。(50代女性)
- ・できるだけ協力したいと考えている(60代女性)
- ・年齢的に動き回る子供は大変(70代女性)

▼[4~5 時間程度の預かり]:乳児(0~1 歳)以上 ※母乳・ミルク、離乳食などが必要

[宿泊を伴った預かり]:幼児(2~3 歳)以上 ※離乳が完了し、幼児食が食べられる

- ・まだ自分も小さい子を育ててる最中で育児慣れしているから。乳児は母乳の子であれば宿泊での預かりは厳しいと思う。(20代女性)
- ・宿泊の場合、夜中に起きることがあるかないか(20代女性)
- ・発語の少ない2歳以前の子は、自身に子育て経験がないので痛みなどの訴えに気づけない可能性があり怖い。4~5時間程度であればずっと起きて見守ることができるのであまり心配はない。(20代女性)
- ・乳児の寝かしつけは難しいが、それ以上ならできそうな気がするから。(30代女性)
- ・乳児は急な対応ができないため。その他の場合はなんとかするしか無い。(30代男性)
- ・孫はいつでも預かります(40代女性)
- ・乳幼児の場合は授乳間隔等の関係で負担が大きい為(40代女性)
- ・自分しか頼る人がいないなら預かるしかない。(50代女性)